

小学校

第1学年 学級活動（保健）指導案

指導者 T1 学級担任
T2 養護教諭

1 題材名 しらない人にこえをかけられたら

2 題材設定の理由

最近、子どもが連れ去り事件が多発している。報道によると、自動車でわざと道路をふさぎ、無理やり子どもが連れ去られたり、甘い言葉で誘い込んだりなど、犯行の手法も多様化している。

本校の近隣地区でも不審者の出没情報が毎年聞かれるため、決して他人事ではないのが現状である。そこで、子どもが被害を受けやすい状況を劇で再現しながら、危険な状況というものに気づかせたいと思う。そして、役割演技により、被害に遭わないような対処の仕方を学校と家庭が連携しながら、児童一人一人に身につけさせたいと考え、この題材を設定した。

3 児童の実態（平成〇年〇月〇日調べ 1年生 男〇名 女〇名 合計〇名）

- ① テレビのニュースや家の人から、どこかの小学生や中学生が知らない人に連れ去られたという話を聞いたことがありますか。
・ある ○名 ・ない ○名
- ② 知らない人が自動車の中からあなたに声をかけてきました。どうしますか。
・近づいて話す ○名 ・自動車から離れる ○名
・その他の方法（110番の家知らせる。家に急いで戻る。など）
- ③ やさしいおじさんから、「公園の場所がわからないから一緒に行って。」と頼まれたらどうしますか。
・一緒に行きあげ ○名
・一緒に行かない ○名（理由：）

アンケートの結果では、誘拐や連れ去りなどの事件があるという話は、テレビのニュースや家の人から聞いて知っている児童がほとんどである。②や③の結果からも不審者には注意しようと気をつけていることがわかる。しかし、実際に自分がその場面に遭遇したときに適切な行動がとれるかどうかかわからない児童が多いと思われる。本時では、知らない人に声をかけられたときの対応の仕方を練習し、自ら被害を防止する自己防衛意識を育てる必要がある。

4 指導のねらい

世の中には子どもにいたづらをしたり、暴力をふるったり、誘拐したりする人がいることを知り、知らない人に声をかけられたときの対応の仕方を身につけることができる。

5 活動計画及び評価規準

月日	過程	活動の場	活 動 内 容	評 価 規 準
〇月〇日	事前	朝の会	・アンケート調査を実施する。	・自分の生活を振り返り、よりよい生活を目指そうとしている。(関心・意欲・態度)
〇月〇日	本時	学級活動	・知らない人に声をかけられたときの対応の仕方を身につける。	・知らない人に声をかけられたときの対応の仕方を理解している。(知識・理解) ・よりよい方法を考え、判断している。(思考・判断)
〇月〇日	事後	帰りの会	・家庭での話し合いをすすめる。	・健康で安全な生活を送るために、身につけたよりよい方法で行動することができる。(技能・表現)

6 本時の指導

(1) 目標

知らない人が声をかけてきたときの適切な対応を知り、役割演技により練習して対応の仕方を身につけることができる。

(2) 準備・資料

- ①アンケート結果 ②絵・ペープサート（男・自動車・女の子・男の子・友だちに吹き出し） ③キーワードを書いた短冊 ④「子どもを守る110番の家」のプレート ⑤安全な生活振り返りカード

(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		資料
	T 1	T 2	
1 本時の課題を確かめる 知らない人に声をかけられたとき、どうしたらいいか考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果を踏まえ、これまでに報道された児童へのいたづら事件のことを思い出させ、本時の学習が自分の命や体を守る大事な学習であることの認識が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題並びにアンケートの結果を提示する。 	①
2 誘拐などについて家の人に言われたこと、知っていることを発表し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中にはいろいろな方法で子どもにいたづらをしたり連れ去ったりする人がいることに気づかせる。 ・ 見知らぬ人の場合も多いが、中には、知っている人の場合もあることを付け加える。 		②
3 被害を受けやすい状況について話し合う (1)行動の様子…一人歩き寄り道 (2)場所…人通りが少ない (3)時刻…下校時、夕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペープサートを使うことにより、被害に遭いやすい状況思い浮かべられるよう支援する。 ・ 児童の発表を板書する。 		②
4 被害に遭わないための対策について教師とのロールプレイングで対応方法を練習する (1)各自考える (2)役割演技 (3)話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペープサートや板書をもとに、被害に遭わないようにするための対策や変だなと思う人への対応を考えさせた後、児童とともに役割演技をする。 ・ 友だちの演技を見ながら、自分が考えた対応の仕方と比較し、いろいろな対応方法、よりよい対応方法に気づかせるようにする。 <p>(評)危険な対応を避け、適切な方法で対応できたか。 (観察・カード)</p>		⑤
5 本時の学習を振り返りまとめをする (1)振り返りカードの記入をする (2)教師の話聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近づかないで話し、わからないときははっきり断り、変だなと感じたときには近くの家に大声で助けを求めて駆け込むことをおさえる。 ・ 「子どもを守る110番の家」について説明する。 ・ 振り返りカードを家に持ち帰り、今日学習したことを話し合うよう約束する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもを守る110番の家」のプレートを提示する。 ・ 振り返りカードの記入の仕方について支援する。 	③ ④ ⑤

7 事後指導への配慮事項

知らない人に声をかけられたときの適切な方法を自分の生活の中に取り入れ実践するには、繰り返し指導して定着できるよう支援していく。また、家庭でも継続して指導してもらうために、本時の学習について学級通信で知らせるなどの方策で働きかけていく。